学びの接続単元プランシート(例)

（ 淡海市 ）立（ 琵琶湖中 ）学校 第（ 3 ）学年

単元名	関連する学習指導要領の領域別目標				
Unit 5 Living with Robots－For or Against	聞く	読む	話す（やり取り）	話す（発表）	書く
単元目標 ・人やものについて情報を加えて説明したり、疑問詞を使って、自分が何かを知っているなどと述べることができる。（知識及び理解） ・相手の意見を受けて、自分の考えを述べながら議論をすることができる。（思考力・判断力・表現力等） ・相手の意見等を踏まえて、自分の考えを英語で伝えようとする。（学びに向かう力、人間性等）	ウ	ウ	ウ		

児童生徒に付けたい力	評価規準		
相手の意見を受けて、自分の考えを述べながら議論する力	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	人やものについて情報を加えた文を言ったり、聞いたりして理解することができる	相手の意見を受けて、自分の考えを述べながら議論することができる	相手の意見等を踏まえて、自分の考えを詳しく説明しながら英語で伝えようとする。

評価対象となる言語活動の目的設定（Task・・・何ができるようになるのか　Text・・・話題、内容　Condition・・・支援　Quality・・・英語の質）

Task	Text	Quality	Condition	新出表現	既習表現
５分以上議論することができるようになるために	「中学生にスマホは必要か必要でないか」について	自分の意見を述べるための文の構成を駆使しながら	４人～６人のグループで行う。	・Do you know the boy playing the guitar? ・I know what you mean?	・Do you know the boy? ・The boy is playing the guitar.

評価対象となる言語活動
「中学生にスマホは必要か必要でないか」について４～６人のグループで、５分以上議論することができる

	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
小学校中学年	ア ゆっくりはっきり話された際に、自分のことや身の回りの物を表す簡単な語句を聞き取るようにする。 イ ゆっくりはっきり話された際に、身近で簡単な事柄に関する基本的な表現の意味が分かるようにする。 ウ 文字の読み方が発音されるのを聞いた際に、どの文字であるかが分かるようにする。		ア 基本的な表現を用いて挨拶、感謝、簡単な指示をしたり、それらに応じたりするようにする。 イ 自分のことや身の回りの物について、動作を交えながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うようにする。 ウ サポートを受けて、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて質問をしたり質問に答えたりするようにする。	ア 身の回りの物について、人前で実物などを見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようにする。 イ 自分のことについて、人前で実物などを見せながら、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようにする。 ウ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、人前で実物などを見せながら、自分の考えや気持ちなどを簡単な語句や基本的な表現を用いて話すようにする。	
小学校高学年	ア ゆっくりはっきりと話されれば、自分のことや身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を聞き取ることができる。 イ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、具体的な情報を聞き取ることができるようにする。 ウ ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関する身近で簡単な事柄について、短い話の概要を捉えることができるようにする。	ア 活字体で書かれた文字を識別し、その読み方を発音することができるようにする。 イ 音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現の意味が分かるようにする。	ア 基本的な表現を用いて指示、依頼をしたり、それらに応じたりすることができるようにする。 イ 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うことができるようにする。 ウ 自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いてその場で質問をしたり質問に答えたりして、伝え合うことができるようにする。	ア 日常生活に関する身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。 イ 自分のことについて、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。 ウ 身近で簡単な事柄について、伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話すことができるようにする。	ア 大文字や小文字を活字で書くことができるようにする。また、語順を意識しながら音声で十分慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようにする。 イ 自分のことや身近で簡単な事柄について、例文を参考に、音声で十分慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。
中学校	ア はっきりと話されれば、日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができるようにする。 イ はっきりと話されれば、日常的な話題について、話の概要を捉えることができるようにする。 ウ はっきりと話されれば、社会的な話題について、短い説明の要点を捉えることができるようにする。	ア 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができるようにする。 イ 日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の概要を捉えることができるようにする。 ウ 社会的な話題について、簡単な語句や文で書かれた短い文章の要点を捉えることができるようにする。	ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができるようにする。 イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりすることができるようにする。 ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを簡単な語句や文を用いて述べ合うことができるようにする。	ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で話すことができるようにする。 イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある内容を話すことができるようにする。 ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを簡単な語句や文を用いて話すことができる。	ア 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて正確に書くことができるようにする。 イ 日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようにする。 ウ 社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、考えたことや感じたこと、その理由などを、簡単な語句や文を用いて書くことができるようにする。

＊目標(◆)と主な活動(◎は本時の中心活動)　＊「目標・評価」の「目標」は、上記の表を見て、ア、イ、ウで表記(2領域以上設定する場合は、重点領域を○で囲む)

＊「目標・評価」の「評価」は、「学校段階別評価規準系統図」(別紙)を見て、「知技」「思判表「主」で表記(2観点以上設定する場合は、重点観点を○で囲む)

1 ◆簡単な話題について議論することができる

Warm Up	Small Talk（オリンピックで何の競技を見たいか）				
導入	英語新聞の紹介記事に関する動画を見る				
主な活動	◎簡単な話題について議論する				
目標・評価	聞く	読む	話す(やり取り)	話す(発表)	書く
			ア・知技		

2 ◆人やものに情報を加えて、英語で書くことができる

Warm Up	○Small Talk（お掃除ロボットか会話ロボット、どちらがほしいか）				
導入	P71　Listen				
主な活動	◎人やものに情報を加えて、自由英作文を書く				
目標・評価	聞く	読む	話す(やり取り)	話す(発表)	書く
	ア・知技				ア・知技

3 ◆関節疑問文を用いた英語のクイズに回答することができる

Warm Up	○Small Talk（どんなロボットがほしいか）				
導入	光太とディーパの会話のcut-upsを正しく並べかえる				
主な活動	◎ “Do you know who he is?” などの間接疑問文のクイズ				
目標・評価	聞く	読む	話す(やり取り)	話す(発表)	書く
	ア・思判表				

4 ◆ロボットは必要か必要でないかについて議論することができる

Warm Up	○Small Talk（リラックスするために何をするか）				
導入	“Do you know where he live?” などのクイズに答える				
主な活動	◎ディベート「ロボットは必要か必要でないか」				
目標・評価	聞く	読む	話す(やり取り)	話す(発表)	書く
			ウ・思判表		

5 ◆ディーパと光太の議論の内容を読み取ることができる

Warm Up	○Small Talk（何があなたをわくわくさせるか）				
導入	ディーパと光太の議論を動画で見る				
主な活動	◎T or F, Q&A（デジタル教科書より）				
目標・評価	聞く	読む	話す(やり取り)	話す(発表)	書く
		ウ・主 （ウ・思判表）			

6 ◆咲とアレックスの意見を読み取ることができる

Warm Up	○Small Talk（何があなたを怖がらせるか）				
導入	咲とアレックスの議論を動画で見る				
主な活動	◎T or F, Q&A（デジタル教科書より）				
目標・評価	聞く	読む	話す(やり取り)	話す(発表)	書く
		ウ・主 （ウ・思判表）			

7 ◆Read and think 1、２の中で誰の意見に賛成・反対か、理由を含めて書くことができる

Warm Up	○Small Talk（１日自由時間を手に入れたら何をしたか）				
導入	誰の意見に賛成・反対か、全体に尋ねる				
主な活動	◎誰の意見に賛成・反対か、理由を含めて書く				
目標・評価	聞く	読む	話す(やり取り)	話す(発表)	書く
					ウ・主 （ウ・思判表）

8 ◆中学生にスマホは必要か必要でないかについて議論することができる

Warm Up	○Small Talk（大人になりたいか、なりたくないか）				
導入	P78　Activity 1				
主な活動	◎中学生にスマホは必要か必要でないかについての議論をする				
目標・評価	聞く	読む	話す(やり取り)	話す(発表)	書く
			イ・主 （ウ・思判表）		